

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	4節3項	③地域文化の発信
担当課・係名	なんでも町政サロン室 広報広聴係【問合せ・質問等の先（内線番号） 563 番】			

業務の名称	芸術作品設置事業																																													
(1) 根拠法令・条例	なし																																													
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>2.0</u> % (系の総業務量を100%とする) 職員延人数: <u>2.3</u> 人・日 (臨時雇用者延人数: <u> </u> 人・日)																																													
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>3,013</u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																													
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u> </u> % (平成19年度実績)																																													
(5) 業務期間	開始した年度	昭和60年度	終了(予定)年度	未定 年度																																										
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)																																														
①業務目的(達成目標)	・文化的で魅力あるまちづくりを行う。																																													
②業務が対象とする住民(地域、層)	全町民																																													
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成19年度実績)	各課に設置要望を照会し、設置場所と作品の種類(彫刻・絵画等)を決定する。その後、愛知県立芸術大学に依頼し、作者を紹介してもらう。作者が決定したら作品内容を決定し、作者と契約を交わし作品を制作してもらう。																																													
④業務の実施結果 (平成19年度実績)	施設利用者が子どもであることを前提に作品の制作ができ、各施設のオープンに間に合わせる事ができた。(青少年児童センター 2点、市が洞小学校 1点 設置)																																													
	【業務結果の説明指標】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度 実績</th> <th>20年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>作品数</td> <td>1点</td> <td>3点</td> <td>3点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標	1	作品数	1点	3点	3点			2							3							4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標																																								
1	作品数	1点	3点	3点																																										
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														
⑤業務の成果(業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	芸術作品を青少年児童センターと市が洞小学校に設置したことで、子どもたちが芸術作品に触れ合う機会が設けられた。																																													
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度 実績</th> <th>20年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>作品数</td> <td>1点</td> <td>3点</td> <td>3点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標	1	作品数	1点	3点	3点			2							3							4							5					
成果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標																																								
1	作品数	1点	3点	3点																																										
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

- ・愛知県立芸術大学が法人化されたことから、以前は美術学部に直接依頼できたが、大学事務局を通じての依頼となり、契約までの手続きが煩雑になった。
- ・概ね、公共施設や近隣公園には設置できてきていることから、設置場所の選定が難しくなる。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

新設の公共施設に設置することで、作品の設置場所をあらかじめ調整することができた。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.0点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">1. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）⑥ 廃止する。7. 休止する。
②評価理由	文化的で魅力あるまちづくりを行うという当初の目的は達成できたと考えるので廃止する。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

- ・これまで設置してきた作品を広くPRする必要がある。
- ・現在設置されている作品のメンテナンスがこれまで行われていないことから、今後は、修繕等を大学に依頼することで、作品を維持することが必要と考える。
- ・概ね、公共施設や近隣公園には設置できてきていることから、今後は新たな施設の建設等に合わせ、芸術作品を当該施設の計画段階から大学に協力してもらい空間造形的な観点からも提案をもらい設置していくことがよいのではないかと考える。